

令和7年度 定期モニタリング評価表（中間）				実施用
施設名	枚方市総合文化芸術センター	所管部署 （連絡先）	文化生涯学習課 （072-841-1409）	令和7年11月実施

この定期モニタリングでは、以下の表の評価項目・視点により確認を行いました。

評価項目		評価の視点	
1 業務の履行状況		事業・業務等が適正に実施されているか否かについて、実施状況・実施体制を確認します。	
(1) 選定時の基準（確認事項）・事業計画の内容（目標）に関する事項	(2) 施設の管理運営に関する経費の収支状況（使用料の収入実績を含む）	市民ニーズの把握・対応状況	アンケート調査等の実施により、市民（利用者）のニーズを把握し、その結果を踏まえて改善を行っているかについて確認します。
		経済性	料金収入や委託料等の収支状況について、当初の収支計画と乖離がないか、適正な内容となっているかについて確認します。
		サービス水準	指定管理者によるサービス水準が適切なものとなっているかについて確認します。
		リスクマネジメント	緊急事態発生時や機器・設備故障時等における対応状況や、対応体制・対応方法について確認します。
2 業務の継続性・安定性		指定管理者の財務状況が継続的、安定的にサービスを提供できる状態にあるかについて確認します。	

施設の概要等			
所在地	本館：枚方市新町2丁目1番60号 別館：枚方市新町2丁目1番5号	主な業務内容	①文化芸術事業に関する業務(自主事業、指定事業、その他)②施設の貸出に関する業務(使用許可に係る業務、舞台管理業務)③施設の管理運営に関する業務(建物・設備の維持管理、外構・植栽の維持管理、備品の維持管理、清掃及び衛生管理、保安警備、駐車場・駐輪場管理、カフェ等運営、総務・経理、広報・宣伝、チケット販売、トレーニングルーム運営、その他必要な管理運営)
設置目的	多彩な文化芸術の鑑賞、創造及び普及活動並びに文化芸術の振興を支える人材の育成を推進し、本市の文化芸術の振興を図るとともに、人々の交流の促進や都市の魅力向上に寄与する拠点とするため、枚方市総合文化芸術センター(以下「センター」という。)を設置する。		
指定管理期間	令和7年4月1日～令和12年3月31日		
指定管理者			
名 称 (JVの場合はグループ名)	アートシティひらかた共同事業体	代表団体 (JVの場合)	サントリーパブリシティサービス株式会社
所在地(JVの場合は代表団体の所在地)	東京都江東区豊洲3丁目2番24号豊洲フォレシア16階	構成団体 (JVの場合)	京阪ビルテクノサービス株式会社、株式会社大阪共立

1 業務の履行状況	
(1) 選定時の基準（確認事項）・事業計画の内容（目標）に関する事項	
評価ポイントごとの評価基準	
5	計画以上に独自の新たなサービスを提供し、特に良好な管理運営を行っている。
4	計画以上の良好な管理運営を行っている。
3	計画どおりの適正な管理運営を行っている。
2	一部計画どおりにできていない、又は改善が必要であるが、概ね適切な管理運営を行っている。
1	全く計画どおりにできていない、又は一部不適切な管理運営が行われている。

評価ポイント	指定管理者による一次評価		所管部署による二次評価	
	評価	評価理由	評価	評価理由
【施設の経営方針に関する事項】				
①施設の現状に対する考え方及び将来展望				
・施設の設置目的等を踏まえた現状認識及び今後の方向性が提案されている(確認事項11)				
・現状認識を踏まえた経営方針「『賑わい創出』から出会い、つながる『交流促進』へ」、に基づく仕掛けづくりができているか（確認事項11）	3	経営方針に基づき、魅力的かつ安全な活動を、指定管理者が一体となって推進している。文化芸術事業においては、子どもや子育て世代の文化芸術活動の機会充実を図るべく、子どもを対象とした公演鑑賞事業や活動支援事業、ワークショップ事業を開催し、また、市駅前図書館・生涯学習交流センターとのイベント連携を実施した。	3	現状認識を踏まえた経営方針に沿った事業・サービスを実施しており、計画どおりの適正な管理運営を行っている と判断できる。
・目標来館者数40万人以上を達成できているか（確認事項11）	3	来館者数：19万4,335人 上期の時点で、年間の目標来館者数である40万人の半数(20万人)を下回っているが、下期実施予定の事業で年間目標は達成見込みである。	3	下半期実施予定の事業で年間目標来館者数を達成見込みであることを確認した。
・施設利用者の窓口対応満足度が目標の90%以上を達成できているか（確認事項11）	3	貸館利用者アンケートは、上期を通じて実施した。上期アンケート集計での窓口対応への満足度結果は、回答項目（満足、やや満足、普通）94.8%であった。	3	利用者アンケートの実施結果から、計画どおりの適切な管理運営を行っていることを確認した。
②施設運営に関する計画				
（ア）施設運営全般に関する提案				
・関係法令及び本市条例・規則を遵守し、施設の設置目的に沿った運営計画が提案されている(確認事項13)				
・施設の設置目的に沿った運営計画を策定しているか（確認事項13）	3	設置目的を理解し、また、経営方針である「賑わい創出」から出会い、つながる「交流促進」と3つの活動指針を達成すべく、事業実施計画を策定している。また、労働関係、施設管理関係法令を遵守する運営計画としている。	3	施設の設置目的に沿った事業実施計画を策定し、その計画に沿った運営をしており、計画どおりの適切な管理運営を行っている と判断できる。

・利用者が安全に利用できるよう施設内で発生するトラブルへの対応方法等について提案されている(確認事項14)					
・利用者等の安全・秩序維持のための適切な対応方法について提案されている(確認事項15)					
	・トラブル未然防止に取り組み、発生時には迅速な報告と対処ができていますか（確認事項14・15）	3	トラブルは、対応フローに基づき一次対応を行い、困難な場合は館長へ報告・二次対応と、市に即時報告をしている。上期においては、施設運営・来館者に影響する事故・トラブルの発生は無かった。	3	トラブルの未然防止に取り組み、発生時には迅速な報告と対処ができており、計画どおりの適切な管理運営を行っている判断できる。
	・利用者の安全利用・秩序維持のためのルールが周知できているか（確認事項14・15）	3	貸館利用団体には、利用の手引きの配布とルールの周知、利用前打ち合わせでの安全に配慮したアドバイス・サポートを行い、利用後の現状復帰確認を徹底し、事故やトラブルの未然防止対策も講じている。	3	利用の手引きでのルール周知や、利用前後の打ち合わせや確認などで安全利用・秩序維持に努めており、計画どおりの適切な管理運営を行っている判断できる。
・業務に従事する者の教育研修方針が提案されている(確認事項16)					
・業務に従事する者が、人権について正しい認識を持って業務を遂行できるよう、人権研修（ハラスメント研修を含む）について、提案されている(確認事項17)					
	・スタッフの育成に関して、必要な知識とスキル、マインドを習得するための研修を実施しているか（確認事項16）	3	全グループスタッフの集合研修を6月に実施し、お互いの仕事を理解しあい、チームワーク醸成につながるワークショップを行った。必要なスキルやマインドを習得し、利用者に寄り添う柔軟なサービス提供と安全・快適な施設管理運営につなげている。	3	施設の運営に関して必要な人材育成研修を実施しており、計画どおりの適切な管理運営を行っている判断できる。
	・全スタッフを対象にした人権研修を実施しているか（確認事項17）	3	全スタッフを対象とした人権研修を各社で実施している。	3	適切な研修を各社で行うことを確認した。計画どおりの適切な管理運営を行っている判断できる。
・利用者の開拓や訴求力の高い宣伝活動などについて、SNS等を活用するなど、多角的で効果的な方策により戦略的な広報を展開する提案となっている（確認事項18）					
・センター会員制度について、魅力的な提案となっている(確認事項19)					
・チケット販売業務について、WEB販売や窓口販売等において、サービス向上に関する提案がなされている（確認事項20）					
	・情報の内容や対象ごとに効果的な広報ツールを活用できているか（確認事項18・19・20）	3	センター情報誌「H-Arts」の発行と合わせて、ホームページの情報更新、Xでの公演情報の配信、Instagram広告の活用、館内デジタルサイネージによる催事案内や主催公演、貸し公演の案内も行っている。市政情報モニターや枚方市のSNSも活用し、継続した宣伝広報を展開している。また、情報誌「H-Arts」について広報ひらかたへの挟み込みによる全戸配布を4月・7月に実施し、多くの市民に情報を発信した。	3	センターホームページやSNS、デジタルサイネージによる案内、市広報紙での主催事業等の情報発信に加え、新たに交通系広告宣伝にも取り組んでおり、計画どおりの適切な管理運営を行っている判断できる。
	・センターの利用率が低い子どもや子育て世代、若者に向けた積極的な広報活動が展開されているか（確認事項18・19・20）	3	子育て世代向けのセンター情報誌「Family H-Arts」を新設し、8月に発行した。ファミリー向け事業と合わせて託児サービス、子育て世代向け館内設備などの情報発信を行った。また、未就学児向け1事業について、「まるっとこどもセンター」内デジタルサイネージでの情報配信も実施した。若者に向けた広報活動について、下期でのSNS広報を計画している。	3	ファミリー向け事業や託児サービス、館内設備などを紹介する「Family H-Arts」を新設、発行し、子育て世代に向けた広報を展開しており、計画どおりの適切な管理運営を行っている判断できる。
	・先行予約会員の登録者数が5年間目標で2万5000人以上を達成しているか（確認事項18・19・20）	3	先行予約会員は2万6,814人が登録しており、目標を達成している。(上期入会者数1,450人)	3	先行予約会委員の登録者数が目標に達していることを確認した。計画どおりの適切な管理運営を行っている判断できる。
	・登録会員のデータを分析・活用し、チケット購入につながるデータマーケティングに取り組んでいるか（確認事項18・19・20）	3	登録会員に向けたメールマガジンの配信(17回)を行い、定期的な公演情報の提供によりチケット購入促進に繋げている。登録会員のデータ分析については下期に検証を実施する。	3	登録会員に対し、メールマガジンの配信を行っている。登録会員のデータ分析について、下期に検証する予定であることを確認した。
	・購入者の利便性に合わせたチケット販売チャネルが展開できているか（確認事項20）	3	自主媒体(窓口販売・電話販売・WEB販売)、プレイガイド販売、委託販売を行い、お客様が購入しやすい環境を整備している。	3	販売チャネルを各種設定しており、計画どおりの適切な管理運営を行っている判断できる。
・カフェ等運営業務について、営業時間を含め魅力的かつ持続可能な内容で、施設や地域の賑わいに寄与する提案となっている（確認事項21）					
	・営業時間の柔軟な対応や季節メニューの展開、芝生広場との一体的な利用の促進など、センターの魅力の一つとしてカフェ運営が行われているか（確認事項21）	3	営業時間外の予約対応やコーヒーのケータリングサービスを行うなど、柔軟にサービス提供を行っている。また、夏季に需要があるスイーツ・ドリンクの品ぞろえを拡充し、利用者需要に合ったサービスを展開した。冬季も、施設前広場などでのイルミネーション事業に合わせた品ぞろえ拡充を計画している。	3	ケータリングの要望などに適切に対応できているほか、季節に合わせたメニュー展開を実施しており、計画どおりの適切な管理運営を行っている判断できる。
(イ) 文化芸術事業全般に対する考え方					
・「枚方市文化芸術振興計画（改訂版）」の内容を理解したうえで、事業の考え方が提案されている(確認事項22)					
・本市の文化芸術の裾野を広げる観点、また、市駅周辺の賑わい創出や活性化の観点を的確に理解した考え方が提案されている(確認事項23)					
・自主事業、指定事業として毎年度、合計85事業以上を提案しているか(確認事項24)					
・文化芸術事業の専門知識や経験等が豊富な人材を、自主事業・指定事業を円滑に実施するに見合った人員で適正に配置されている(確認事項25)					
	・あらゆる世代に、賑わいと交流を生む魅力的な文化芸術事業の企画運営ができていますか（確認事項22・23・24・25）	3	自主事業の企画では、音楽鑑賞、ポップス、ミュージカル公演など各世代に多彩なジャンルの公演を鑑賞する機会提供ができ、多くの市民を集客し賑わいを創出できた。また、市民総合文化祭や地域連携事業の企画では、多くの文化芸術団体や参加者が同じステージ・場所で同じ時間を共にし、交流する機会を創出できた。	3	鑑賞事業、地域連携事業、創造発信事業などにおいて、幅広い世代に向けた魅力的な文化芸術事業の企画運営ができており、賑わいと交流の機会を創出できている。計画どおりの適切な管理運営を行っている判断できる。
	・枚方市の文化芸術をけん引する市民協働・市民共創の積極的な機会を創出できているか（確認事項22・23・24・25）	3	市民同士が交流し、センターの事業に参画する機会として「子どもレセプションに挑戦！」を開催したほか、11月本番公演に向けて枚方シティオペラの活動を8月に開始、上期の時点で、6回の合唱練習を終えた。下期では、「枚方シティオペラ」「創作こども劇場」「市民と創る朗読劇」「社会福祉協議会協働」の事業を予定している。	3	子ども向けの参加型事業のほか、プロと舞台を創り上げる枚方シティオペラの練習を開始するなど、計画どおりの適切な管理運営を行っている判断できる。また、下期に事業の実施を予定していることを確認した。

	・子どもたちの夢の実現に寄与する若手支援・次世代の育成サイクルが構築されているか（確認事項22・23・24・25）	3	「大阪フィルハーモニー交響楽団の青少年のための公開リハーサル」「ウィーンフォルクスオーパー交響楽団メンバーによるマスタークラス」「創作こども劇場」を通じて、子どもたちがプロの文化芸術に触れる機会を創る計画を予定している。また、枚方市の若手プロアーティストによるアーツプラウト事業を開催し、文化芸術活動の場を創出した。	3	アーティストバンク登録アーティストによるアーツプラウト公演を開催しており、計画どおりの適切な管理運営を行っていると判断できる。 また、下期に事業の実施を予定していることを確認した。
	・事業を年間85本以上実施し、事業参加者人数年間5万人以上を達成できているか（確認事項22・23・24・25）	3	上期の時点で、37事業を実施。事業参加者27,296人。下期実施計画より達成見込み。	3	年度を通じて計画どおりの事業実施本数を予定していることを確認した。
	・経験豊富な企画制作チーフを配置し、自主事業・指定事業を円滑に実施できる人員が適正に配置されているか（確認事項22・23・24・25）	3	企画力はもちろん、企画制作の全体統括、企画ごとの判断・交渉・折衝、担当者育成ができる業務経験年数が多い企画制作チーフを配置している。また豊富な企画制作経験を持つサブチーフを配置し、担当者の育成・組織力向上を推進し、企画制作業務の安定稼働を図っている。また、SPS本社の事業支援チームも、事業実施と担当者育成を支援し、専門性の高い事業は外部の専門人材活用も実施している。	3	経験豊富な企画制作チーフを配置し年間事業計画の作成や業務全般の管理監督を行っていることに加え、サブチーフを配置して担当者の育成・組織力向上を推進している。自主事業・指定事業を円滑に実施できる人員が配置されており、計画どおりの適切な管理運営を行っていると判断できる。
（ウ）自主事業に対する考え方					
・入場料の価格設定について、市民が鑑賞しやすく、かつ満席を目指すための明確なビジョンが示されたうえで提案されている（確認事項26）					
	・各企画の適正価格と収支のバランスを考え、完売するための価格設定を分析し入場料金を決定しているか（確認事項26）	3	文化芸術の裾野を広げるための公演や親子向け公演など、育成や普及を主眼とする事業は安価に価格設定を行い、完売している。また、これまでの完売公演や事業収支実績を参考に、市民ニーズと市場価格とのバランスを考えた適正な企画制作と価格設定を行った上で、広報活動を展開して完売につなげた。	3	各企画の適正価格と収支のバランスを分析した入場料金を設定しており、計画どおりの適切な管理運営を行っていると判断できる。
	・鑑賞事業の事業費に対する指定管理料の充当率が鑑賞事業全体で45%となっているか（確認事項26）	3	上期の時点で、鑑賞事業11事業実施し、年間で45%達成の見込み。	3	年度を通じて判断する。
・枚方市の魅力や交流人口の増加、賑わいの創出に資することができる国内外の著名なアーティストを招聘した目玉公演の企画・実施について、明確なビジョンが示されている（確認事項27）					
	・特別公演について、枚方市民が誇りを持って、市内外の認知度向上にも寄与する事業を市民ニーズも踏まえバランスよく実施できているか（確認事項27）	3	国内だけでなく海外ホールでも活躍している著名なアーティスト（原田慶太楼、HIMARI）と読売日本交響楽団によるクラシック公演と、子育て世代を中心に高い認知度がある寝屋川出身アーティスト（PUFFY）によるポップス公演を実施し、市民だけでなく、市外からの鑑賞者も多く迎え、センターの魅力を伝えることができた。	3	国内外で活躍する著名なアーティストを招聘した公演を2公演実施した。下期でも1公演実施予定であることを確認しており、計画どおりの適切な管理運営を行っている と判断できる。
・幅広い分野で質の高い鑑賞事業を実施することに対して明確な考え方が示されている（確認事項28）					
	・鑑賞事業について、多様で上質な文化芸術を堪能できる機会が創出できているか（確認事項28）	3	大阪フィルハーモニー交響楽団やウィーン少年合唱団、ワンコインコンサート、0歳からの親子クラシックコンサートのクラシック音楽に加え、ベリーグッドマン、劇団四季ファミリーミュージカル、落語公演を開催し、あらゆる世代のニーズに合わせた事業を実施した。	3	クラシックやポップス、ミュージカル、伝統芸能など幅広いジャンルの文化芸術を鑑賞できる機会を提供している。また0歳から高齢者まで年代の偏りがなく楽しめるような幅広い事業を展開できており、計画どおりの適切な管理運営を行っている と判断できる。
	・鑑賞事業について、子どもや子育て世代、若年層の支援や育成の観点から、助成金等を活用した鑑賞の場の提供、託児サービスの実施などに積極的に取り組んでいるか（確認事項28）	3	子育て世代の鑑賞支援を目的とした託児サービスを劇団四季ファミリーミュージカルで実施した。利用者は2組であった。サービスの認知度を高めるべく、情報誌「FamilyH-Arts」での広報やClubH-Arts会員へのメールマガジンによる広報を継続して展開する。 文化庁の劇場・音楽堂等における子供舞台芸術鑑賞体験支援事業の補助金は下期に2公演を予定している。	3	新たに託児サービスを開始したほか、下期には文化庁の補助金を活用した鑑賞事業の実施を予定していることを確認しており、計画どおりの適切な管理運営を行っている と判断できる。
・市独自の良質な音楽事業や舞台芸術作品の制作についてのアイデアが提案されている（確認事項29）					
	・創造発信事業について、共に一つの芸術作品を作り上げるプロセスを通して世代間の交流を促進できているか（確認事項29）	3	「枚方シティオペラ 2025 喜歌劇《こもり》」ではプロアーティストと市民の協働による枚方オリジナル事業であり、両者が共に1つの作品を作り上げるプロセスを大事に「世代間交流」を促進している。 わかぎゑふ氏と市民とでオリジナル作品を制作する「市民と作る朗読劇」事業を下期に予定している。	3	枚方シティオペラでは10代～80代の市民約80人が参加し、本番に向けた練習を開始するなど、共に一つの芸術作品を創り上げるプロセスを通した世代間の交流が促進できており、計画どおりの適切な管理運営を行っている と判断できる。
・若手アーティストの育成や次世代育成事業に対して明確な方向性が示されている（確認事項30）					
	・若手支援・次世代育成型事業について、各世代ごとに様々なアプローチで文化芸術の育成サイクル構築に取り組んでいるか（確認事項30）	3	枚方市の若手アーティストの出演機会となるアーツプラウト公演（山下彩恵、La Mer）を引き続き開催した。「子どもレセプションistにチャレンジ！」事業では、14名の市内小学生がホールでの接客・接客に関わる仕事の体験を通じて、鑑賞への興味を持ち、ホールへの来場機会を増やす機会を作った。 下期では、「青少年のための公開リハーサル」「ウィーンフォルクスオーパー交響楽団メンバーによるマスタークラス」「創作こども劇場」等、新規事業を予定し、音楽・舞台芸術など幅広い分類で文化芸術の担い手の支援・育成を推進する。	3	枚方にゆかりのある若手アーティストの発表の場である「アーツプラウト」シリーズや「子どもレセプションistにチャレンジ！」を実施するなど、様々なアプローチで文化芸術の育成サイクル構築に取り組んでおり、計画どおりの適切な管理運営を行っている と判断できる。 また、下期にも事業の実施を予定していることを確認した。
・社会包摂事業について、障害・年齢・家庭の状況などの理由により一定の配慮が必要な方が参加しやすい事業展開の考え方が示されている（確認事項31）					
	・社会包摂事業・普及事業について、障害の有無だけでなく国籍・境遇の異なる方にも範囲を広げた事業が推進できているか（確認事項31）	3	「でんじろう先生のドキドキわくわくサイエンスショー」を実施した。 下期では、「生演奏にのせてベビーダンスで朝活！」、バリアフリーコンサートとして「兄ーズ ピアノ・ランド みんなの音楽会」を予定している。	3	「でんじろう先生のドキドキわくわくサイエンスショー」を実施し、これまでホールにきたことのない人も参加しやすい事業を実施した。また、下期にも事業の実施を予定していることを確認しており、計画どおりの適切な管理運営を行っている と判断できる。

・諸室(別館施設を含む)や広場を活用した、広がりのある事業展開についての考え方が提案されている(確認事項32)				
・ワークショップ事業について、市民の積極的な文化芸術活動始動のきっかけを提供できているか(確認事項32)	3	下期にて実施予定。 対話型事業「アートでおしゃべり〜キミはどう思う?〜」、「石材を使ってランプシェードを作ろう!」「DJみそしるとMCごはん コードモラップワークショップ」を予定している。	3	下期に事業の実施を予定していることを確認した。
・諸室活用事業について、施設前広場や別館施設等を活用して、交流を促進し、地域の活性化につなげる取り組みが実施できているか(確認事項32)	3	下期にて実施予定。 第14回ひらかた社協ふくしフェスティバルなどを予定している。	3	下期に事業の実施を予定していることを確認した。
・地域連携事業について、枚方市駅周辺エリア等との連携を促進しているか(確認事項32)	4	「H-Artsフェスタ」において市駅前図書館・生涯学習交流センターと連携し、謎解きイベントの館外チェックポイントを両施設に置くことで市民が行き来できるよう企画したほか、絵本の広場、おはなし会を新たに実施した。その後も子ども向け事業の特設コーナーを図書館に設置する取り組みを実施した。	4	「H-Artsフェスタ」において市駅前図書館・生涯学習交流センターと連携した新たな取り組みを実施した。絵本の広場やおはなし会でH-Artsフェスタ来館者に楽しんでもらうだけでなく、施設の行き来を促す工夫を企画・実施するなど、新規利用者の増加やセンターの認知度向上につながっており、計画以上の良好な管理運営を行っている と判断できる。
・美術事業について、美術とのコラボレーションを生み出す新たな事業の展開ができているか(確認事項32)	3	市所蔵作品 版画作品展〜秋野玄左牟・前田藤四郎 二人展〜では、美術ギャラリーの空き期間を活用し、枚方市との共催で市の所蔵作品の展覧会を開催した。 「木之下見 音楽写真展」を下期に実施予定。音楽家の肖像写真などを中心に展示、同時期に実施するホール事業との連携を図る。	3	市所蔵作品 版画作品展を開催したほか、下期にも事業の実施を予定していることを確認しており、計画どおりの適切な管理運営を行っている と判断できる。
(工) 指定事業に対する考え方				
・市内の文化芸術関係団体と良好な関係で事業を実施できる環境が整っている(確認事項33)				
・各指定事業について、交流促進を実施することで、文化芸術活動がより活発に実施されるよう支援できているか(確認事項33)	3	市民総合文化祭事業では、市内の文化芸術関係団体との良好な関係のもと、団体からの協力を得て、実施できている。	3	市民総合文化祭において、市内の文化芸術関係団体と良好な関係を築き交流を促進しており、計画どおりの適切な管理運営を行っている と判断できる。
・市民の文化芸術活動の発表の場としての役割を理解しているか(確認事項34)				
・市民とセンターのつながりを、市民同士・市民団体同士に広げ、活発な交流を促せているか(確認事項34)	4	市民総合文化祭事業では、市内の文化芸術関係団体の協力のもと、幅広い市民に広報を展開し、昨年より参加団体を大幅に増加させた(舞台部門：11団体増加、短歌俳句の部：42名増加、展示部門：2名増加)。また、来場者は昨年より1,481人増加させて、市民とセンター、市民同士・市民団体同士のつながりを広げた。	4	市民総合文化祭において、時間的制限のある中、設営・撤収などの工夫により参加団体数および来場者数を増加させ、市民とセンター、市民同士・市民団体同士のつながりを広げており、計画以上の良好な管理運営を行っている と判断できる。
・指定事業の特徴的事業をあげ、より発展した場となるよう課題を抽出し改善点案を通じて市民の文化芸術活動がより活発に実施されるよう支援をしているか(確認事項34)	3	これまでの市民文化祭における要望より、器楽・声楽の部の演奏区分について、CDなどの音源、マイクを使用する演奏を含めたため、昨年以上の参加申込があり、参加団体数も増加した。	3	市民総合文化祭において、発表ジャンルの整理を行いより参加しやすく工夫するなど、市民の文化芸術活動が活発に実施されるよう支援できおり、計画どおりの適切な管理運営を行っている と判断できる。
(オ) 施設の貸出等に関する業務の提案				
・施設稼働率の目標水準が達成されるような提案がされている(確認事項35)				
・利用者に対する接遇対応向上について提案されている(確認事項36)				
・セルフモニタリング及び利用者等に対するアンケートの実施について提案されている(確認事項37)				
・施設の貸出に関する業務を適正かつ効率的・効果的に遂行できる人員が適正に配置されている(確認事項38)				
・施設を利用して文化芸術活動を行うための専門的な相談(舞台・広報等)を受け、適切に助言するための体制が提案されている(確認事項39)				
・枚方市総合文化芸術センター条例、同条例施行規則を遵守し、すべての利用者にとって公正、公平な施設の貸し出しを実施できているか(確認事項35・36・37・38・39)	3	枚方市総合文化芸術センター条例、同条例施行規則を遵守した申請・使用料収受事務を行っている。また、利用の手引きを更新し、すべての利用者に最新の情報を提供するとともに、公正、公平な施設貸し出し業務を行っている。	3	枚方市総合文化芸術センター条例、同条例施行規則を遵守した申請・使用料収受事務を行うとともに、すべての利用者にとって公正、公平な施設の貸し出しを実施しており、計画どおりの適切な管理運営を行っている と判断できる。
・各施設の目標稼働率を達成できているか(確認事項35・36・37・38・39)	3	上期の時点で、大ホール71%、小ホール76%、イベントホール76%、美術ギャラリー84%、本館その他施設平均45%、別館各施設平均42%となり、一部達成となった。	3	年度を通じて判断する。
・利用促進・稼働率向上のための営業活動や、利用者へのサポートに取り組めているか(確認事項35・36・37・38・39)	3	当センター利用の興行主催者に積極的な貸出提案を行い、施設利用実績、ならびに著名なアーティストが出演する貸し公演の開催につなげた。また、ホールは貸館下見会を月2回開催し、諸室は随時下見対応を行い、催事や利用内容の具現化につながる丁寧な案内を実施している。特にホールと美術ギャラリーにおいては、細やかな実施提案を受付スタッフと舞台管理スタッフから対面・メール・電話で、積極的に行っている。	3	興行主催者に対し営業活動を行い、事業の実施に繋がっているほか、下見会も定期・随時実施しており、計画どおりの適切な管理運営を行っている と判断できる。 引き続き、丁寧な対応で予約につなげ、利用促進・稼働率向上に取り組まれることを期待する。
・利用者に対する接遇力向上のための取り組みとして、各種研修を実施しているか(確認事項35・36・37・38・39)	3	利用者が快適に施設を利用できるように、スタッフが休館日研修でのサービススキル研修やチームビルディングワークショップ、貸出ルール勉強会を通して、豊富な知識と提案スキルに磨きをかけている。	3	職員に対し、利用者目線に立った様々な研修を受講させることで、利用者に対する丁寧な接遇につなげられており、計画どおりの適切な管理運営を行っている と判断できる。
・各種セルフモニタリングを実施し、結果を現場に反映させているか(確認事項35・36・37・38・39)	3	施設利用者アンケートや、主催公演来場者アンケート、本社コンプライアンス部門による業務品質チェックを行い、利用団体の要望・指摘を収集するとともに、業務フロー・執務環境課題についてスタッフ全員で共有・改善を行っている。	3	セルフモニタリングを実施できおり、結果については指定管理者間で適宜共有を図り、施設利用者のニーズに答えるなど適正な取り組みを行っている。

	・本館と別館を一体的に運営し、効率的に遂行できる人材を窓口・舞台とも適正に配置しているか（確認事項35・36・37・38・39）	3	受付スタッフを適正に配置し、本館・別館の利用受付や問い合わせ対応をだけでなく、利用者の要望を丁寧に聞き取り、本館・別館施設から最適な提案を行っている。また、舞台技術スタッフは施設の特性を熟知し、利用者が計画した催事に合わせた説明・提案ができるスタッフを適正に配置し、利用者の満足度を高めている。	3	本館と別館を一体的に運営し、効率的に遂行できる人材を窓口・舞台とも適正に配置しており、計画どおりの適切な管理運営を行っていると判断できる。
	・利用者の利便性向上のため、音響・照明・録音等の専門スタッフの手配代行等の利用者サポートができているか（確認事項35・36・37・38・39）	3	利用者の希望する催事の具現化に努め、豊富な技術・知識を有した専門スタッフの手配を行うとともに、センターの舞台を熟知し、十分な知識とスキルを兼ね備えた舞台技術スタッフが、丁寧に利用者サポートを行っている。	3	利用者の利便性向上のためのサポートを丁寧にっており、計画どおりの適切な管理運営を行っていると判断できる。
【施設の管理に関する事項】					
①施設管理全般に関する提案					
・関係法令及び本市条例・規則を遵守し、施設の設置目的に沿った管理計画が提案されている(確認事項40)					
・施設の管理に関する業務を適正かつ効率的・効果的に遂行できる人員が適正に配置されている(確認事項41)					
・建築設備全般に係る点検・保守を適切に実施し、機能保全・利用者への安全、快適な環境が提案されている(確認事項42)					
	・施設の安全性確保に関する基本的な考え方について、本館・別館の施設特性を理解し、幅広く多様な来館者に安全・安心・快適な環境を提供できているか（確認事項40・41・42）	3	共同事業体３社で施設管理に関する会議（施設維持管理会議）を毎月実施し、日常運営での状況共有をはじめ、施設の不具合状況や中長期を含めた施設の維持管理状況の共有を行っている。各グループが連携して来館者への安全・安心・快適な環境提供している。	3	指定管理者内で適宜共有し連携しながら来館者に安全・安心・快適な環境を提供しており、計画どおりの適切な管理運営を行っていると判断できる。
	・施設の安全確保に関する基本的な考え方について、関係法令・仕様業務基準を遵守し、正しく、最適な施設管理を行っているか（確認事項40・41・42）	3	関係法令及び仕様業務基準を遵守し、これまでの実績で集積した維持管理のデータ、知見を活用し、日常業務・定期業務とその管理を遅滞なく実施している。また、不具合が発生した場合も即時対応を行い、施設運営に影響が出ないように努め、最適な施設管理を行っている。	3	関係法令、仕様書等を遵守し、最適な施設管理を行っており、計画どおりの適切な管理運営を行っていると判断できる。
	・本館・別館の施設の一体管理による効率的な人員配置ができているか（確認事項40・41・42）	3	本館・別館の施設特徴を知り尽くしたスタッフを本館に配置し、本館・別館の定期巡回・現地確認・対応を行うなど、2館一体管理による効率的な人員配置を行っている。	3	本館と別館での設備点検の実施や、警備員の巡回配置方法など2館で連携した体制を整えており、効率的な運営を行っており、計画どおりの適切な管理運営を行っていると判断できる。
	・予防保全の取り組みとして、ITによる計画的な施設の長寿命化に取り組めているか（確認事項40・41・42）	3	設備・備品の不具合発生を未然に防ぐ計画的な予防保全を主体とし、ASP（施設支援システム「FM EXP」）を活用して、適切な設備保守と更新を行うなど、センターを熟知した設備管理スタッフの対応とデジタルによるLCC（ライフ・サイクル・コスト）の最小化と施設の長寿命化を推進している。	3	システムを活用しながら設備機器の管理を行うなど、計画的な施設の長寿命化に取り組んでおり、計画どおりの適切な管理運営を行っていると判断できる。
	・予防保全の取り組みとして、安全を第一に考えた舞台の維持管理ができているか（確認事項40・41・42）	3	豊富な技術・知識を有し、センターの舞台を熟知している舞台技術スタッフが、目視や使用具合をもとに日常的に行う保守点検と、機材等の知識を有する専門業者が測定機等を用いて定期的に行う精密点検を行い、舞台維持管理を行っている。また、中長期の舞台維持管理について、市と調整し推進している。	3	経験豊富な舞台技術スタッフを配置して日常・保守・定期点検を行っており、安全を第一に考えた舞台の維持管理ができている。中長期の舞台維持管理についても市と調整して推進しており、計画どおりの適切な管理運営を行っていると判断できる。
	・定期点検は適切な頻度で実施し、不具合発生箇所を早期発見し、重要な機器故障を未然に防ぐことができているか（確認事項40・41・42）	3	これまでの機材使用頻度や舞台の稼働率、催事内容より、定期点検を適切な時期に実施することで、不具合発生箇所を早期に発見し、機器故障を未然に防ぐ措置を行っている。また、定期的に更新が必要な機器は市へ連絡・調整を行い、貸館と施設運営に影響が出ないよう修繕を実施している。	3	定期点検について適切な間隔で実施され、不具合箇所についても早期発見や未然防止に取り組んでおり、計画どおりの適切な管理運営を行っていると判断できる。
	・安全な施設環境づくりのために、施設の安全・安心な警備対応ができているか（確認事項40・41・42）	3	施設不具合や迷惑行為などに対しては、警備スタッフをはじめ、清掃・設備管理スタッフなどセンター全員が早期発見と一次対応を行い、安心・安全な施設環境づくりに努めている。また、大型催事開催時には府道京都守口線「ラポール枚方前」交差点付近における交通誘導警備員を配置し、利用者誘導の実施と安全の確保に努めている。	3	警備スタッフをはじめセンター職員全員が安心・安全な施設環境づくりに努めている。また、大型催事開催時には交通誘導警備員を配置するなど、施設の安全・安心な警備対応ができおり、計画どおりの適切な管理運営を行っていると判断できる。
・備品管理に当たり、管理簿の整備及び責任所在について提案されている(確認事項43)					
	・備品維持管理業務に対する基本的な考え方について、備品維持管理計画を策定し、物品管理簿を備えて適切に管理できているか（確認事項43）	3	備品の長期修繕計画や物品管理簿を市と共有し、市の立ち会いによる実地確認も受けながら備品を適切に管理している。また保守点検が必要な備品は適当、かつ適切に実施している。備品に不具合が発生した場合は、市に報告・協議・修繕を行っている。	3	物品管理簿に基づき、不具合が発生したものについては市と連携を取るなど、適切な物品ができおり、計画どおりの適切な管理運営を行っていると判断できる。
	・備品維持管理業務に対する基本的な考え方について、備品の特性に合わせた維持管理を行い、楽器等の特殊備品は専門的知識に基づいた維持管理を行っているか（確認事項43）	3	専門的な知識を持った舞台技術スタッフが維持管理を適切に行うとともに、楽器類については専門業者による保守点検も行っている。	3	楽器の維持管理について専門業者による保守点検を行っており、計画どおりの適切な管理運営を行っていると判断できる。
②環境への配慮に関する提案					
・施設内で生じた廃棄物の適切な一時保管、搬出、処理の提案がされている(確認事項44)					
・環境に配慮した管理運営を目指し、ごみの削減、節電・省エネルギー等の取組が提案されている(確認事項45)					
	・施設内で生じる廃棄物について、法令に基づいた適切な取り扱いが徹底できているか（確認事項44）	3	ゴミの分別をわかりやすく表記、ルールの設定を行い、ごみ減量につなげつつ、適切な処理を行っている。また、産業廃棄物は管理者を定め、一時保管後、法令に基づき適切に処理します。	3	施設内で生じる廃棄物について法令に基づき適切に処理しており、計画どおりの適切な管理運営を行っていると判断できる。
	・持続可能な目標（SDGs）の達成に向けて、省エネ・省資源対策やスタッフへの意識づけに取り組んでいるか（確認事項45）	3	利用者の快適性を維持すると同時に、空調機器の運転時間・設定温度の適正化を推進するなど省エネ・省資源に努めている。	3	空調機器の運転時間・設定温度を適正に設定するなどし、省エネ対策を行っており、計画どおりの適切な管理運営を行っていると判断できる。

【情報公開及び個人情報保護の措置に関する事項】					
・枚方市情報公開条例の目的等を踏まえ、管理運営事業で保有する情報の公開に関する対応が明確に示されている(確認事項46)					
	・センターの情報を提供することにより公正で開かれた施設となっているか（確認事項46）	3	公演情報や貸館にかかる情報、営業に関する情報を情報誌H-Artsやセンターホームページ、Xを活用して、情報が広く行きわたる広報に努めている。	3	情報誌やホームページ、Xを活用して積極的に情報発信を行っており、計画どりの適切な管理運営を行っている
	・開示請求等に応じる手続き方法を明確にし、情報開示請求があった際には適正に対応しているか（確認事項46）	3	センターが保有する個人情報データに関する開示請求等に応じる手続きについては、プライバシーポリシーの項目として、センターホームページに明記している。また、開示請求があった場合には、適切に対応できる体制を構築している。	3	開示請求に対応できる体制を構築しており、計画どりの適切な管理運営を行っている
・個人情報保護法及び関係法令の目的等を踏まえ、個人情報の保護に関する必要な措置について明確に示されている(確認事項47)					
	・個人情報の取扱いとして「個人情報保護法」を遵守し、適正・適切な管理を行っているか（確認事項47）	3	センターで取り扱う個人情報及び個人データについて、作業従事者を特定し、法令遵守のもと適正かつ適切な管理を実施している。	3	個人情報保護法に基づき、施設で発生する書類などを適切に管理しており、計画どりの適切な管理運営を行っている
	・個人情報の保護に関する必要な措置について適切に行っているか（確認事項47）	3	個人情報保護法第 23 条に則し、「情報セキュリティガバナンス規程」等の配備や個人情報台帳の作成・組織的管理（組織的安全管理措置）、プライバシーポリシーの設置や情報セキュリティ研修実施（人的安全管理措置）、施錠のできるキャビネット内保管や業務パソコン等の機器・装置の固定・部屋の施錠（物理的安全管理措置）、ネットワークの独立性を確保（技術的安全管理措置）を行っている。	3	総合文化芸術センターでのプライバシーポリシーを定めホームページで公開しているほか、個人情報台帳の作成、施錠キャビネットでの保管、ネットワークの独立性確保など必要な措置を適切に行っており、計画どりの適切な管理運営を行っている
【緊急時における対策に関する事項】					
・緊急時・防犯・防災対策の危機管理マニュアル作成等が提案されている(確認事項48)					
・緊急事態発生時又は発生が予測される場合における常時連絡可能な体制・方策が提案されている(確認事項49)					
・構成員間（本支社間含む）、市との間におけるリスク分担に対する考え方が明確に示され、かつ考え方に対応した分担内容となっている(確認事項50)					
	・危機管理に関する基本的な考え方について、来館者の安全配慮と徹底した事前準備ができているか（確認事項48・49・50）	3	様々なリスクを想定し、防止策を日常業務や定時業務の中で検討・講じている。また、発生時の対応策も検討し、有事の際に利用者の安全を確保する準備を行っている。	3	様々なリスクや、発生時の対応策を検討するなど、来館者の安全配慮を行っており、計画どりの適切な管理運営を行っている
	・危機管理に関する基本的な考え方について、災害時の危機管理体制が構築されているか（確認事項48・49・50）	3	危機管理マニュアルや設備監視体制を整えるなど共同事業体間で緊急時の体制について共有し、有事の際に対応できるように人員体制を整えている。また、指定管理者内で緊急連絡網を定め、万が一責任者が不在であっても対応できる体制を整えている。	3	危機管理マニュアルを作成し、有事に対応できる体制を整えており、計画どりの適切な管理運営を行っている
	・緊急時や防犯・防災の取り組みとして、危機管理マニュアルの整備と周知を行っているか（確認事項48・49・50）	3	危機管理マニュアルを整備し、職員間で研修を通じて周知し、有事に備えている。	3	危機管理マニュアルを作成し、職員間で共有を図っており、計画どりの適切な管理運営を行っている
	・緊急時や防犯・防災の取り組みとして、設備監視体制が構築されているか（確認事項48・49・50）	3	緊急時に適切な対応が取れるように、設備監視体制を構築している。	3	設備監視体制の構築が図られており適切な対応を行っている。計画どりの適切な管理運営を行っている
	・緊急時や防犯・防災の取り組みとして、防災訓練、心肺蘇生法講習会などを実施しているか（確認事項48・49・50）	3	上期の時点で、6 月実施の防災訓練にて、避難経路や車いす利用者への誘導方法の確認を行った。下期では、AED 講習会などの研修を予定している。	3	防災訓練や適切な講習会を行っており、計画どりの適切な管理運営を行っている
	・緊急時の体制として、明確な役割分担や指揮系統を一元化した体制フローが確立されているか（確認事項48・49・50）	3	役割分担を明確にし、対応を迅速に行う緊急時体制フローを構築している。館長に情報を一元化し、必要な指示は担当グループごとへ直接連絡している。	3	緊急時の体制の構築が図られており適切な対応を行っている。計画どりの適切な管理運営を行っている
	・市と指定管理者との間におけるリスク分担表を理解し、誠実に対応しているか（確認事項50）	3	緊急時の枚方市とのリスク分担、共同事業体間のリスク分担、共同事業体内の連携と代表企業内の業務分担を明確にし、それぞれの責務を担い、誠実に対応している。また、想定されるリスクに対し、各種保険に加入し、対応に備えている。	3	リスク分担表に基づき協議の上対応していることから、計画どりの適切な管理運営を行っている
【その他】					
・利用者サービスを維持・向上させる具体的な取組について提案されている(確認事項51)					
・地域や事業者等と連携し、センターやまちの魅力向上への寄与についての考え方が示されている(確認事項52)					
・市が実施する事業に対する協力やコミュニケーションを活発にする連絡体制等、市と積極的に連携・協力する姿勢が見受けられる(確認事項53)					
	・施設のバリアフリー化を推進する取り組みとして、サービス介助士資格取得の推進に取り組んでいるか（確認事項51）	3	上期の時点で、新たにサービス介助士資格取得者2名。プライオリティゲスト対応研修を下期に予定している。	3	新たにサービス介助士資格を取得した者がいるほか、下期に研修の実施も予定しており、計画どりの適切な管理運営を行っている
	・施設のバリアフリー化を推進する取り組みとして、DX活用の推進に取り組んでいるか（確認事項51）	3	総合受付にタブレット端末を導入しているほか、アプリケーションによる多言語対応や手話、筆談対応等を可能にする環境整備を下期に向けて準備している。	3	利便性向上のため、利用者目線に立ったDXを活用したサービスを市等と調整を行っており、計画どりの適切な管理運営を行っている
	・センターの資源を活用し、文化芸術をキーワードにした地域連携により市駅周辺エリア全体で誘客・回遊効果を生み出す取り組みができているか（確認事項52）	3	H-Artsフェスタにおいて、市駅前図書館・生涯学習交流センターとの連携企画を実施。センターと両施設を行き来し参加者が市駅周辺を回遊する事業とした。	3	H-Artsフェスタでは市駅前図書館・生涯学習交流センターと連携した企画を実施することで市駅周辺の回遊を促す取り組みができおり、計画どりの適切な管理運営を行っている

・鑑賞チケットサービスについて、協力店舗数が5年間目標で30店舗以上を達成しているか（確認事項52）	3	上期の時点で、昨年より新たに5店舗が加入し、協力店舗は18店舗となった。30店舗以上に向けて営業活動を継続する。	3	新しくオープンした枚方モールへの営業により新たに5店舗が新規加入するなど協力店舗数の増加に取り組んでおり、計画どりの適切な管理運営を行っていると判断できる。
・市が実施する事業に対する協力やコミュニケーションを活発にする連絡体制等、市と積極的に連携・協力する姿勢が見受けられるか（確認事項53）	3	毎月実施している市との管理運営定例会や企画・広報・修繕部会では、各事業における進捗をはじめ、発生している課題の報告と改善案を共有するなど、双方の意思疎通を図っている。また、協議事項は協議録を取り、滞りの無い施設運営につなげている。また、所管課の各会議体及び地域連携の協議体等へ出席し、枚方市が実施する事業や文化情報の発信内容とセンターの情報発信を連動させるよう努めている。	3	毎月、市と指定管理者間で定例会や企画広報会議を実施していることや、必要時には迅速に問い合わせに対応するなど連絡・協力する姿勢が見られており、計画どりの適切な管理運営を行っていると判断できる。

指定管理者による一次評価 平均点	3.0	所管部署による二次評価 平均点	3.0
------------------	-----	-----------------	-----

評価項目 1 (1)の評価基準		
S	事業計画における提案以上に、良好な管理運営を行っている	二次評価の平均点が4点以上
A	事業計画に則した適切な管理運営を行っている	二次評価の平均点が3点以上 4点未満
B	事業計画の履行において一部努力が必要だが、概ね適切な管理運営を行っている	二次評価の平均点が2点以上 3点未満
C	事業計画の履行において、抜本的な管理運営の改善が必要	二次評価の平均点が2点未満 または「1」の評価があり、かつ、その理由が重大な内容である場合

評価項目 1 業務の履行状況 (1) 選定時の基準（確認事項）・事業計画の内容（目標）に関する事項の評価（所管部署）	A
--	---

(2) 施設の管理運営に関する経費の収支状況（使用料の収入実績を含む）

評価ポイントごとの評価基準	
○	適正（適切）である
△	一部改善が必要であるが、概ね適正（適切）である
×	不適正（不適切）である

評価ポイント	指定管理者による一次評価		所管部署による二次評価	
	評価	評価理由	評価	評価理由
・収支予算書と比較して収入額が大幅に減少していない。／大幅に減少している場合、その理由が妥当で、今後安定した収入を得られる見込みがあるか。	○	適正に実施している。	○	適正であることを確認した。
・収支予算書と比較して、想定外に多く支出している費目がない。／想定外に多く支出している費目がある場合、その理由が妥当で、今後、予定外の支出が発生するおそれがないか。	○	適正に支出している。	○	適正であることを確認した。
・運用資金の借入れを行っていない。／借入れを行っている場合、その理由が妥当か。	○	行っていない。	○	借入れを行っていないことを確認した。
・口座管理、つり銭等の現金管理は適正に行われているか。	○	適正に行っている。	○	適正に行っていることを確認した。

評価項目 1 業務の履行状況 (2) 施設の管理運営に関する経費の収支状況の評価（所管部署）	A
--	---

評価項目 1 (2)の評価基準		
S	全ての項目が適正（適切）であり、かつ、特に優れた点が見られる	全ての項目が○、かつ、特に優れた点が見られる
A	全ての項目が適正（適切）である	全ての項目が○
B	一部改善が必要であるが、概ね適正（適切）である	△が1個以上
C	不適正（不適切）な点があり、直ちに改善を求める	×が1個以上

(3) 募集要項・仕様書記載事項等に関する事項

評価ポイントごとの評価基準	
○	適正（適切）に実施している。
△	一部改善が必要であるが、概ね適正（適切）に実施している。
×	実施していない、又は不適切な点がある

評価ポイント	指定管理者による一次評価		所管部署による二次評価	
	評価	評価理由	評価	評価理由
・募集要項3ページに記載している再委託禁止に関する事項を遵守し、市の承認手続きが適切に行われているか。	○	遵守し、適正に行っている。	○	遵守し、適正に行っていることを確認した。
・指定管理業務に伴い発生する経費及び収入を、指定管理者が他の事業等で利用する口座とは別の口座で管理しているか。	○	別口座で管理している。	○	適切に口座管理していることを確認した。

・個人情報保護法等の関係法令に基づき個人情報保護に関し必要な措置を講じているか。	☐	必要な措置を講じている。	☐	必要な措置を講じていることを確認した。
・労働基準法等の労働関係法令を遵守しているか。	☐	遵守している。	☐	遵守していることを確認した。
・職務の執行に対する意見、要望等の記録等に関する条例に基づき記録等の対応を行っているか。	☐	条例に基づき対応している。なお、職務の執行に対する意見、要望等の記録に該当するものはなかった。	☐	条例に基づき対応していることを確認した。
・指定管理者が業務に伴って作成し、又は受領した文書等に関し、文書管理に関する規定等を定め、適正に管理・保存しているか。	☐	文書管理に関する規定等を定め、適正に管理・保存している。	☐	適切に管理・保存していることを確認した。
・募集要項12ページに記載している「環境への配慮」が適切に行われているか。	☐	適切に行っている。	☐	公演時以外については、使用していない諸室の電気や冷暖房の停止をこまめに行うなど、適切に行っていることを確認した。
・適切な保険に加入しているか。	☐	加入している。	☐	公立文化施設賠償責任保険など、適切な保険に加入していることを確認した。
・指定管理者名と設置者としての市の連絡先を施設内に表示するとともに、利用料金表等に明記しているか。	☐	表示、明示している。	☐	表示、明記していることを確認した。
・募集要項13ページに記載している障害者差別解消に関する取り組みが行われているか。	☐	行っている。	☐	定期的に人権研修を行っていることを確認した。
・利用者に対するアンケート等、利用者ニーズの情報収集を適切に行うとともに、その結果を踏まえて改善に取り組んでいるか。	☐	取り組んでいる。	☐	利用者アンケートを実施し、改善に取り組んでいることを確認した。
・事業報告書、日報・月報等を遅滞なく市に提出するとともに、業務の実施状況が適切に報告されているか。	☐	遅延なく報告している。	☐	遅延なく報告を受けている。
・施設や設備等の修繕に関して、実施記録や要修繕箇所の把握が適切に行われており、適宜、市に報告されているか。	☐	適切に行い、報告している。	☐	適切に行い、報告していることを確認した。

評価項目 1 (3)の評価基準		
S	全ての項目が適切に実施されており、かつ、特に優れた点が見られる	全ての項目が○、かつ、特に優れた点が見られる
A	全ての項目が適切に実施されている	全ての項目が○
B	一部改善が必要であるが、概ね適切に実施されている	△が1個以上
C	不適切な点があり、直ちに改善を求める	×が 1 個以上

評価項目1 業務の履行状況 (3) 募集要項・仕様書記載事項等に関する事項の評価 (所管部署)	A
---	---

2 業務の継続性・安定性

評価ポイントごとの評価基準	
☐	適正（適切）である
<input type="triangle-up"/>	一部改善が必要であるが、概ね適正（適切）である
<input type="x"/>	不適正（不適切）である

評価ポイント	指定管理者による一次評価		所管部署による二次評価	
	評価	評価理由	評価	評価理由
・応募の資格に抵触する事項はないか。	☐	ない。	☐	応募資格に抵触する事項はないことを確認した。
（監査報告書等） ・会計手続きが適正に行われていることが確認できたか。	☐	適正に行っている。	☐	適正に行っていることを確認した。
（監査報告書等） ・事業の存続に関わる異常事項が指摘されていないか。	☐	指摘されていない。	☐	異常事項が指摘されていないことを確認した。
（貸借対照表） ・資産・負債の中に大きな前期比増減がない。／ある場合、その理由は妥当か。	☐	大きな増減はない。	☐	大きな前期比増減は生じていないことを確認した。
（損益計算書等） ・安定した収益をあげられているか。（赤字となっていないか。）	☐	あげている。	☐	安定した財務状況となっていることを確認した。
・施設の収支状況（自主事業の収支を含む）が安定しているか。（赤字の場合は、その赤字分を継続的・安定的にカバーできる財務状況となっているか。）	☐	安定している。	☐	安定していることを確認した。
・その他、団体の経営に影響する要素はないか。	☐	ない。	☐	団体の経営に影響する要素はないことを確認した。

評価項目 2 の評価基準		
S	継続的・安定的にサービスを提供できる状態であり、かつ、特に優れた点が見られる	全ての項目が○、かつ、特に優れた点が見られる
A	継続的・安定的にサービスを提供できる状態である	全ての項目が○
B	一部改善が必要であるが、概ね継続的・安定的にサービスを提供できる状態である	△が1個以上
C	不適正（不適切）な点があり、直ちに改善を求める	×が1個以上

評価項目 2 業務の継続性・安定性の評価（所管部署）	A
----------------------------	---

3 指定管理者による一次評価（総括）

一次評価コメント

令和7年度上期の来館者数は194,335人、文化芸術事業は36本実施し、事業参加者数は27,296人であった。昨年より来館者がやや減少となったが、事業参加者は増加（27,296名 去年同期比+1,872名）となり、上期において、総じて計画通りの適正な管理運営を行ったと自己評価する。

文化芸術事業では、世界的に高い評価を受ける実力派アーティスト・HIMARIと、国内屈指の在京オーケストラである読売日本交響楽団との共演による「原田慶太楼 × HIMARI」の枚方公演を実施した。また、子どもや子育て世代の文化芸術活動の機会充実を図るべく、子どもを対象とした公演鑑賞事業や活動支援事業を開催し、市駅前図書館・生涯学習交流センターとのイベント連携も実施した。また、情報誌 Family H-Artsを新たに発刊し、自主事業や子育て世代から求められている施設・機能を紹介し、施設の魅力発信も行い、幅広い年代の参加者につなげた。文化芸術事業のチケット先行予約会員においては、順調に会員数を伸ばし(26,814名:9月末時点)、引き続き、メールマガジンの配信などの情報提供や、ホームページ、情報誌、SNS（センター、市）を積極的に活用した広報を展開し、公演のチケット完売につなげた。

貸館事業は、すべての利用者に最新の情報を提供するとともに、公正、公平な施設貸し出し業務を行うべく、利用の手引きを更新・周知を行った。また、利用者が快適に施設を利用できるように、休館日研修でのサービススキル研修などを通じて、利用者に対する接遇力向上の取り組みを推進した。

施設管理・運営では、引き続き、本館・別館一体管理の効率的な運営を行うための体制や対応を行った。また、施設の不具合への早期改善や中長期を含めた施設の維持管理、施設内と周辺の目視確認を各グループが連携して実施した。加えて、共同事業体全体でお互いの業務内容を理解し、チームワーク醸成を図るワークショップを行ったことで、利用者に寄り添う姿勢や柔軟な対応力、安全・快適な施設管理運営に必要な知識・スキルを身につけたことにより、スタッフ全体のサービス品質と施設運営の一体感が向上し、安全、快適な施設管理運営へとつながった。

上期の総括としては、計画通りの業務遂行ができたと考える。

4 所管部署による二次評価（総括）

(1) 評価項目ごとの評価結果及び総合評価

評価項目		評価結果	総合評価
1 業務の履行状況			
	(1) 選定時の基準（確認事項）・事業計画の内容（目標）に関する事項	A	
	(2) 施設の管理運営に関する経費の収支状況（使用料の収入実績を含む）	A	
	(3) 募集要項・仕様書記載事項等に関する事項	A	
2 業務の継続性・安定性		A	

総合評価の考え方

評価項目ごとの評価をそれぞれ S = 4 点、A = 3 点、B = 2 点、C = 1 点として 4 項目（または 3 項目）の合計点数を算出し、そのうち「C」評価が 1 つ以上ある場合はその合計点数から 1 点減点し、下表の区分により総合評価を決定する。

ただし、評価ポイントにおいて「1」や「×」となった理由が重大な内容である場合は、総合評価を「C」評価とする。

点数・評価対応表

評価項目ごとの評価をそれぞれ S = 4 点、A = 3 点、B = 2 点、C = 1 点として 4 項目（または 3 項目）の合計点数を算出し、そのうち「C」評価が 1 つ以上ある場合はその合計点数から 1 点減点し、下表の区分により総合評価を決定する。

ただし、評価ポイントにおいて「1」や「×」となった理由が重大な内容である場合は、総合評価を「C」評価とする。

総合評価		S			A				B			C			
評価項目が4つの場合	点数	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3
	評価項目の評価	SSSS	SSSA	SSSB	SSAB	SSBB	SABB	AABB	ABBB	BBBB	AACC	ABCC	ACCC	BCCC	CCCC
	(順不同)			SSAA	SAAA	SAAB	AAAB	SBBB	SSCC	SACC	ABBC	BBBC	BBCC		
						AAAA	SSAC	SSBC	SABC	AABC	SBCC	SCCC			
評価項目が3つの場合	点数	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2			
	評価項目の評価	SSS	SSA	SSB	SAB	SBB	ABB	BBB	SCC	ACC	BCC	CCC			
	(順不同)			SAA	AAA	AAB	SAC	SBC	ABC	BBC					
						SSC		AAC							

(2) 二次評価コメント

令和7年度上期の総合文化芸術センターの運営について、概ね計画どおりの管理運営を行っている。

指定管理者全体の集合研修を実施し、チームワーク醸成につながるワークショップや必要なスキルやマインドを習得することで、利用者に寄り添う柔軟なサービス提供と安全・快適な施設管理運営につながられていることが利用者アンケートの結果の満足度94.8%という高さにつながったものと考える。

広報活動については、新たに子育て世代向け情報誌を発刊したり交通系広告宣伝やデジタルサイネージ、SNSでの催事案内を展開するなど積極的に取り組まれている。今後も市部署とも連携し、より戦略的な広報展開を期待する。

文化芸術事業においては、国内外の著名なアーティストを招聘し市内だけでなく市外の方も訪れたいくなるような魅力的で集客率が高い公演や、親子で鑑賞しやすい公演などジャンル・年代の偏りが無い幅広い事業が企画実施されている。全体的に事業が下期に集中しているため、時期に偏りが無いよう実施していただきたいが、概ね計画どおりの適正な管理運営を行っている判断できる。

施設運営では、窓口対応や施設を利用する方に対し、誠心誠意をもって対応していると評価する。施設管理についても、日々の日常業務や保守点検などの定時業務で機材の使用頻度や特性に応じた管理を適切に行っていた点の評価し、全体を通して計画どおりの適正な管理運営を行っている判断できる。

下期も引き続き、共同事業体間や市担当部署とも円滑に連絡を取り合いながら、世代を問わず多くの市民等の交流の促進や都市の魅力向上、にぎわい創出に寄与する拠点としての役割を担っていただくことを期待する。

5 改善指示への対応状況

指示を行った時期	内 容	対応状況
令和 年 月	該当なし	